

## 第3章 区域計画

## ● 「区域計画」の推進について

## (1) 「区域計画」の構成と取組主体

区域計画は、「地区別計画」の取組支援と他地区に取組を広げるきっかけづくり等を推進する「地区支援目標」と、重点的なテーマに沿った事業ベースの具体的な取組をまとめた「重点テーマと目標」の2つで構成されています。

この「地区支援目標」と「重点テーマと目標」の実現に向け、区役所、区社会福祉協議会及び地域ケアプラザが、地域や関係団体・事業者などと協働で取り組んでいきます。

## (2) 地区支援目標

「地区支援目標」は、各地区で展開されている「地区別計画」を中心とした取組について、その充実や実現に向けて、助言等を行うとともに各種助成制度などの活用により、支援を行います。

また、「地区別計画推進策定委員会」や「地区支援チーム」における活動を通じて、各地区の取組を把握し、その手法やノウハウを蓄積して効果的に地域に情報提供することで、他地区にその取組を広げるとともに、取組の支援を行ないます。

目標1	地域での「つながり」づくりの取組を支援し、ともに推進しながら、他の地域へも取組を広げていきます！<つながり>
目標2	多くの人が地域で活躍でき、地域活動が広がっていくことを目指し、地区の支援やコーディネートを行います！<人材・担い手>
目標3	より身近な地域で活動できるよう、地域活動における「機会」「場」に関するノウハウを共有し、活用します！<機会・場>
目標4	地域情報を共有・活用できる体制づくりをすすめます！<情報>
目標5	地域の取組を共有するとともに、活動の広がりを意識しながら継続して取り組めるよう、支援を行います！<安全・安心・健康>

## (3) 区域計画の重点テーマと目標

「重点テーマと目標」は、「区民アンケート」、「分野別・団体別グループインタビュー」や、各地区の「地区別計画推進策定委員会」などでの意見を参考に、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」の提言に基づき、区域での取組が必要と考えられる6テーマを選定しました。

また、「目標」や「主な取組」に関しては、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザを中心に検討を進め、それぞれのテーマの必要性に関して、「背景と取組の方向性」「これまでの取組」「期待されること・求められていること」などを経て、項目を選定しました。

テーマ1	日常的な見守り体制づくりに関する取組	テーマ4	子ども・子育てに関する取組
テーマ2	認知症に関する取組	テーマ5	災害時に支援が必要な方への取組
テーマ3	障害児・障害者に関する取組	テーマ6	健康づくりに関する取組

## (4) 「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」について

第1期、第2期計画に引き続き、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」が、地区別計画を含めた第3期計画での取組状況の把握や振り返りを行っています。

委員は、学識経験者、福祉保健活動団体等の代表などで構成しています。

## &lt;令和2年度の開催状況&gt;

第1回を令和3年3月下旬に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、書面開催としました。

## ● 6つの重点テーマの推進状況

### (1) 日常的な見守り体制づくりに関する取組

#### ■ひとり暮らし高齢者等地域で見守り推進事業

行政が保有する75歳以上のひとり暮らし高齢者及び75歳以上の高齢者のみで構成される世帯（以下、「ひとり暮らし高齢者等」）の情報を活用し、支援や見守り等を望んでいる方を把握するとともに、必要な支援の実施や地域での顔の見える関係づくりを目的としている事業です。

民生委員・児童委員、地域包括支援センター、区役所の三者が連携し、ひとり暮らし高齢者等の名簿をもとに、対象者宅へ訪問等を行い状況の把握を行っています。訪問の結果は三者で共有し、必要に応じてサービスの情報提供や継続した見守りを行うことで、高齢者の方が地域で孤立することなく安心して生活できる地域づくりを行っています。

令和元年度には、75歳以上の高齢者のみで構成される世帯にも対象を広げました。令和2年度は、名簿に掲載されている方のうち、新たに75歳になられた方や緑区に転入されてきた方（約1,800人）を中心に状況の把握を行いました。

新型コロナウイルス感染症が拡大している中でも、感染対策を徹底し訪問方法を工夫しながら、高齢者の見守りを行っています。

#### ■成年後見サポートネット

令和2年度より、これまでの成年後見サポートネットの機能を拡充し、新たに区域の権利擁護の相談分析や課題検討等を行う「専門職会議」とこれまでの「全体会」の2部制を「区協議会」として位置づけ、10月に第1回目を開催しました。また、市民後見人の育成支援を目的とするため、「市民後見サポートネット」を別途位置づけ、12月に第1回目を開催しました。

専門職会議では、成年後見等の専門職団体でもある弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士の方々と共に各相談機関が受けている相談を分析し、課題整理や今後の方向性等の話し合いを進めています。今年度の全体会では、専門職会議でも参加している弁護士より、補助・補佐についての基本的な理解と支援に生かすポイント等の講義を行いました。また、市民後見サポートネットでは、コロナ禍で困ったこと、工夫したことについて、市民後見人を含む関係機関と一緒に話し合いを行いました。



第3章 区域計画

(2) 認知症に関する取組

■認知症キャラバンメイト通信の発行

認知症サポーター養成講座を行うキャラバン・メイトのみなさまへの支援として、毎年、認知症キャラバン・メイトのつどいを開催していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

代替として、キャラバン・メイトのみなさま向けに、活動に役立つ情報や各地域包括支援センターからのメッセージを伝えるための「緑区キャラバン・メイトだより」を発行しました。引き続き、コロナ禍でも工夫を凝らして認知症の普及啓発の取組を進めていきます。



(3) 障害児・障害者に関する取組

■ライフデザイン講座の開催

緑区では、障害のある方とその家族が将来について考える機会として連続講座を開催しています。「親亡き後の障がい者の生活を親あるうちに準備するライフデザイン講座」で、住まいやお金のこと、成年後見制度のことなど様々なテーマで緑区基幹相談支援センターあおぞら、緑区障がい者後見的支援室みどりのこかげが企画し、緑区高齢・障害支援課及び区内の地域ケアプラザが協力して実施しています。

令和2年度第2回講座「障害福祉サービスとライフデザインについて」では緑区高齢・障害支援課ソーシャルワーカーが講師を務め約40名が参加しました。皆さん熱心に聴講されて、「サービスについて知ることができて良かった」といった感想も聞かれ好評でした。



■障害者週間イベントとみどりハートフルマーケット

令和2年12月2日から4日まで緑区役所で「緑区障害者週間イベント2020～みんな もっと いっしょに たのしもう み・ど・り!～」を開催しました。イベントは国の定める障害者週間（12月3日から9日まで）に合わせて障害福祉への理解を深めるために、区内障害福祉サービス事業所や特別支援学校など障害福祉に関わる42機関と区役所が一緒になって企画したものです。今回はコロナ禍の中でも楽しんでもらえるように、ハンドベルの演奏や人形劇を映像で上映したり、事業所紹介に映像を活用しました。障害者によるアート作品の展示、障害者事業所の自主製品の販売がにぎやかに催され、連日多くのお客様が買物を楽しんでいらっしゃいました。

また、緑区役所ではこうした障害のある方の活躍の場づくりとして、自主製品の区役所販売「みどりハートフルマーケット」を定期的で開催しています。障害のある方が元気な声で呼び込みをしながらお弁当、パン、ビーズアクセサリーなどの雑貨を日替わりで販売し、区役所に訪れた方が立ち寄っています。



#### (4) 子ども・子育てに関する取組

##### ■緑区寄り添い型生活支援事業 ～ミドリクラブ～

令和3年2月に「緑区寄り添い型生活支援事業～ミドリクラブ～」が始まりました。

放課後の時間に、簡単な家事や学校の宿題等に取り組むことで、生活習慣や学習習慣を整えることが目的です。ほかの子どもたちやスタッフと一緒に、いろいろな体験を通じて、自分の得意なことに気づいたり、興味のあることを見つけたり、将来の目標や夢を持つきっかけを作ります。家庭環境に左右されることなく、一人ひとりが自立した社会生活を送れるように支援していきます。

#### (5) 災害時に支援が必要な方への取組

##### ■災害時要援護者支援事業の啓発

災害時に避難行動の支援等の配慮が必要な方（高齢者や障害者、乳幼児、傷病者、外国人など）を支援するために、日頃から地域で顔の見える関係づくりのための取組を進めることが大切です。今年度は各地区での取組状況について確認し、区内の2地区で取組の啓発を実施しました。

これまで緑区では、ささえあいカードを活用した「手上げ方式」の取組が多く行われていますが、収集した個人情報への更新の手間が課題として挙げられています。引き続き、その他の取組手法についても紹介し、地域で支援の取組が広がっていくことを目指します。

#### (6) 健康づくりに関する取組

##### ■感染症予防対策研修

新型コロナウイルス感染症拡大予防の取組の一環として、区内の高齢者施設及び障害者施設を対象とした研修を開催しました（6月、11月に計5回）。研修では、当該感染症の基礎知識や感染防護策、施設職員として必要な手袋着脱の実演レクチャーなどを実施しました。参加者からは、「基礎知識を再確認することができてありがたかった」「集団感染につながった事例共有は有意義だった」「ヒヤリハットを自分事として他職員と共有したい」等のご意見をいただきました。

##### ■コロナ禍での元気づくりステーションの取組

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、元気づくりステーションの活動も一時中止となりました。5月に緊急事態宣言が解除された後、区高齢者支援担当、地域包括支援センターと元気づくりステーションの担い手の方を中心に感染防止対策を行ったうえでの活動の形を話し合いました。その後、活動場所、活動内容などを見直し、多くのグループが活動を再開しました。

思うように活動ができない一年でしたが、これまでの活動を通して築いてきた参加者同士のつながりの大切さを改めて実感することができました。

